

果樹カメムシ類の発生に注意しましょう！

県病害虫防除所によると、8月下旬現在、ナシ園におけるカメムシ類の被害果率(本年値0.5%、平年値0.2%)は平年よりやや高い～高く、発生地点率(本年値56%、平年値17%)は平年より高いこと等から、**9月の発生量は多い**と予測しています。

このため、園内を注意深く観察してカメムシの侵入を確認したら、下記を参考に薬剤防除に努めてください。特に今後収穫期を迎えるカキやリンゴ等のほ場ではカメムシ類が飛来するおそれがあるので注意してください。

なお、薬剤散布は、カメムシ類の活動が鈍い早朝(又は飛来の多い夕刻)に行ってください。防除薬剤は、収穫前日数(有袋や無袋で異なる場合があります)に注意して選択し、系統の異なる薬剤でローテーション散布してください。

また、散布に際しては園の周囲に飛散(ドリフト)しないよう十分な注意が必要です。

参考:病害虫発生予察注意報第3号 (tyuuihour06-3.pdf (pref.ibaraki.jp))
令和6年7月18日付け営農 News 第3167号 (3167-2.pdf (zennoh.or.jp))



ナシの被害



カキの被害



チャバネアオカメムシ成虫



クサギカメムシ成虫
(写真:病害虫防除所)

表1 果樹カメムシ類の主な防除薬剤

(令和6年9月6日現在)

薬剤名	ナシ	カキ	ブドウ	リンゴ	分類
キラップフロアブル		2,000倍 7日前まで/2回以内		2,000倍 14日前まで/2回以内	2B
スカウトフロアブル	1,500倍 前日まで/5回以内	1,500倍 7日前まで/5回以内		1,500~2,000倍 前日まで/5回以内	3A
テルスターフロアブル	3,000~6,000倍 前日まで/2回以内	3,000~6,000倍 3日前まで/2回以内		3,000倍 前日まで/1回	
ロディー水和剤	1,000倍 前日まで/2回以内	1,500倍 7日前まで/3回以内		1,000~1,500倍 前日まで/2回以内	
アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍 前日まで/3回以内	2,000倍 3日前まで/3回以内		2,000倍 7日前まで/2回以内	4A
スタークル顆粒水溶剤	2,000倍 前日まで/3回以内	2,000倍 前日まで/3回以内	2,000倍 前日まで/3回以内	2,000倍 前日まで/3回以内	
ダントツ水溶剤	2,000~4,000倍 前日まで/3回以内	2,000~4,000倍 7日前まで/3回以内	2,000~4,000倍 前日まで/3回以内	2,000~4,000倍 前日まで/3回以内	
バリアード顆粒水和剤	2,000倍 前日まで/3回以内			2,000倍 前日まで/3回以内	

注1) ブドウでは、果粉溶脱の恐れがありますので、薬剤使用上の注意事項などを必ず確認してください。

注2) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。